



エースモール
事業



エスパー等非破壊探査
事業



点検リニューアル
事業



環境事業

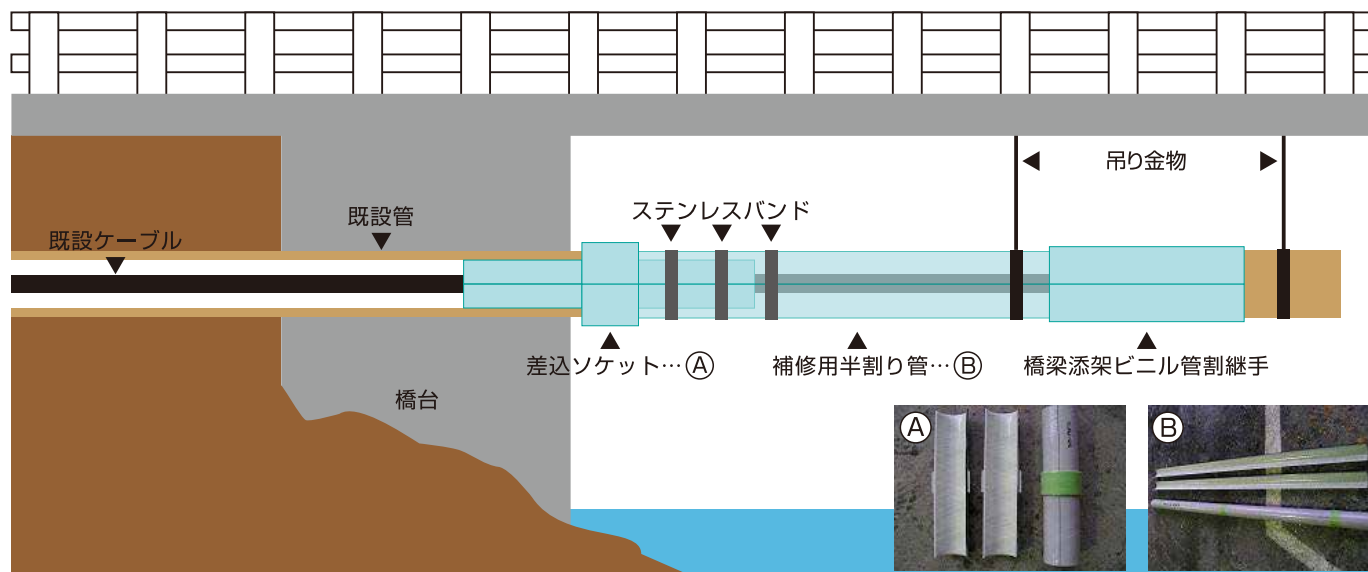
壊さなくても、未来はつくれる



アイレック技建

橋梁添架管補修工法

不良部分が2.0m以下の補修



一般的に腐食が著しい橋台際の管路補修工法です。橋台側にFRP製ソケット管を差し込む方式で、橋台際の腐食による管路脱落を回避するとともに腐食劣化しない強度を有したFRP製管で橋梁添架管路を補修するものです。

主な特長

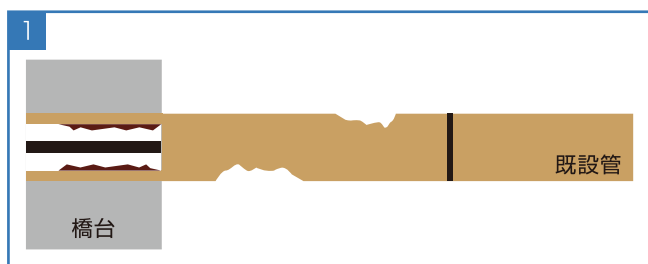
- 既設ケーブルがあるケーブル収容管路でも補修可能
- 鋼材と比べて軽量のFRP製であるため、作業性が良好
- 機械的強度は硬質ビニル管以上
- 剛性が高く、たわみにくい
- 温度変化による伸縮が鋼管と同等

FRPの特性比較

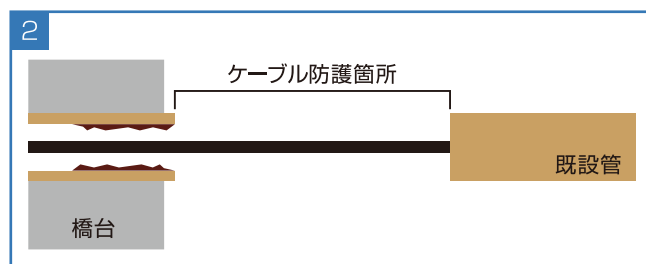
項 目	硬質ビニル管	鋼 管	FRP管
重量 (N/m)	32.4	91.5	23.5
弾性係数 (N/mm ²)	3,000~4,000	210,000	22,000~28,000
線膨張係数 (°C)	$7.0 \times 10^{-5} / ^\circ\text{C}$	$1.2 \times 10^{-5} / ^\circ\text{C}$	$1.1 \times 10^{-5} / ^\circ\text{C}$
引張強さ (N/mm ²)	50~57	430	350~450
圧縮強さ (N/mm ²)	70	-	150~200

製品情報は裏面になります。

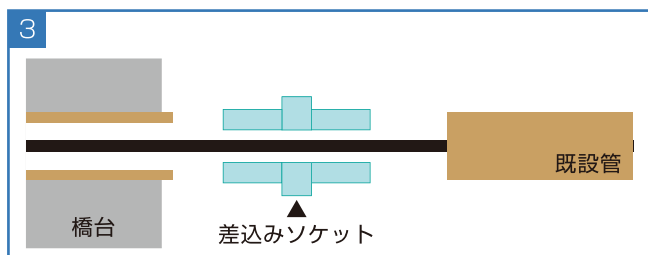
補修手順



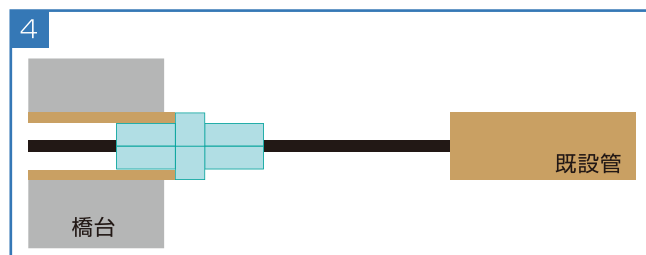
劣化状況を確認し、補修区間をマーキングする



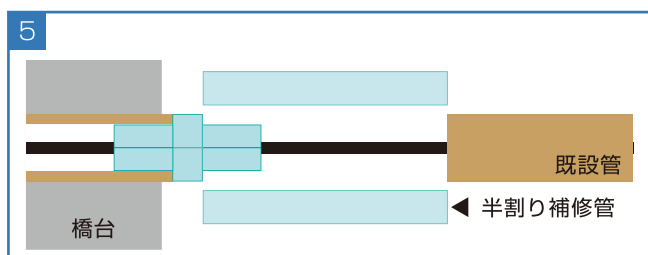
必要に応じてケーブルを防護し、管切り専用工具で不良箇所を撤去する



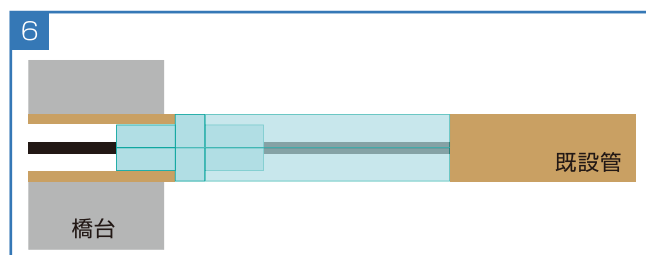
差込みソケットが挿入できるか確認し、差込みが出来るような状態にする



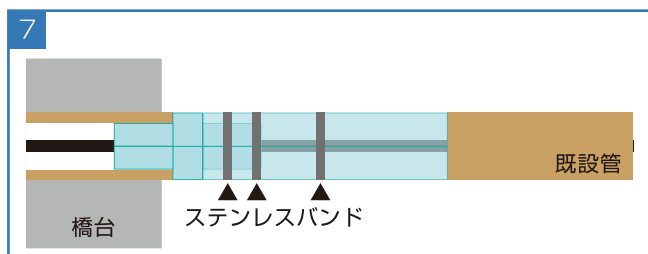
差込みソケットに接着剤を塗布し、橋台側に取り付ける



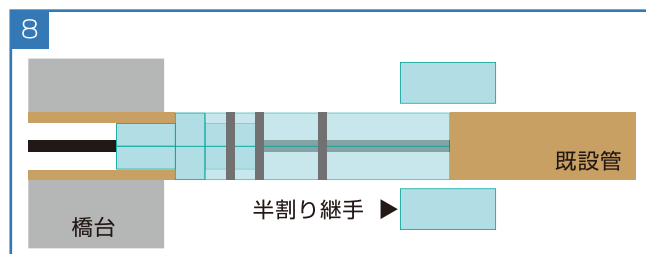
補修の長さを測り、半割り補修管を調整する



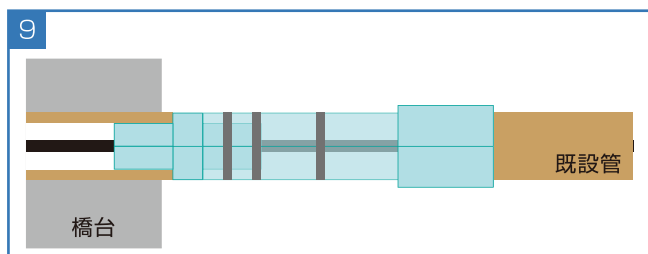
差込みソケット側に接着剤を塗布し、半割り補修管を取付ける



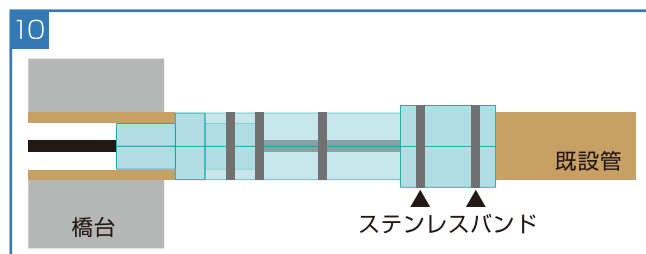
ステンレスバンドで半割り補修管を固定させる



既設管に合わせた半割り継手等を準備する



半割り継手に接着剤を塗布し、既設管と補修管を接続する



ステンレスバンドで半割り継手を固定する

お問い合わせ先



アイレック技建株式会社

東日本営業本部 第一事業部 TEL : 03-3845-8187 FAX : 03-3845-8190
〒111-0034 東京都台東区雷門 1-4-4 ネクストサイト浅草ビル 6F